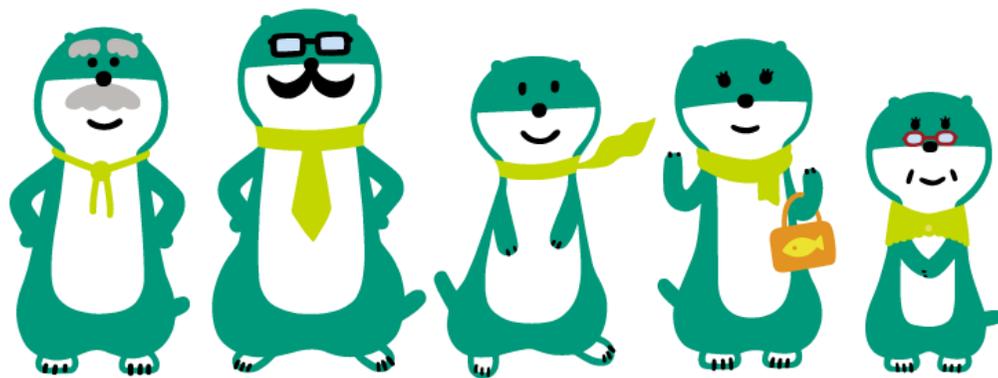


SMBCグループの経営戦略

LEAD THE VALUE



 SMBC 三井住友フィナンシャルグループ

2018年10月

証券コード	8316
単元株数	100株
株価*	4,722円

* 2018年10月5日現在

I. SMBCグループの特長・強み

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 圧倒的なグループ総合力 | 3 |
| 2. 高い収益性・効率性 | 4 |
| 3. 質の高い資産・健全な資本基盤 | 5 |
| 4. 安定的に増加している配当 | 6 |

II. SMBCグループの成長戦略

- | | |
|------------------|----|
| 1. 金融機関を取り巻く環境 | 8 |
| 2. SMBCグループの収益構成 | 9 |
| 3. 個人のお客さま向けビジネス | 10 |
| ① 資産運用ニーズへの具体的取組 | 11 |
| ② 店舗改革 | 12 |
| ③ キャッシュレス決済 | 14 |
| 4. 法人のお客さま向けビジネス | 16 |
| 5. 海外ビジネス | 17 |
| 6. コスト削減への取組 | 18 |

III. 株主還元強化への取組

- | | |
|-------------------|----|
| 1. 資本政策の基本方針 | 20 |
| (参考) | |
| 2018年5月に公表した株主還元策 | 21 |

IV. ESG (環境・社会・ガバナンス)

- | | |
|--------------|----|
| 1. 環境 (E) | 23 |
| 2. 社会 (S) | 24 |
| 3. ガバナンス (G) | 25 |
| 4. SDGsへの取組み | 26 |

V. ご案内

- | | |
|-------------------------|----|
| 1. 東京2020オリンピック・パラリンピック | 28 |
| 2. 当社のウェブサイト | 29 |

- | | |
|-------|----|
| ご参考資料 | 30 |
|-------|----|



I. SMBCグループの特長・強み

II. SMBCグループの成長戦略

III. 株主還元強化への取組

IV. ESG（環境・社会・ガバナンス）

V. ご案内

1. 圧倒的なグループ総合力

- SMBCグループは、各業界トップクラスの企業で構成されています



SMBC Group

銀行

三井住友銀行



SMBC信託銀行



証券

SMBC日興証券



リース

三井住友ファイナンス&リース



カード

三井住友カード



セディナ

コンシューマーファイナンス

SMBCコンシューマーファイナンス



その他

日本総合研究所

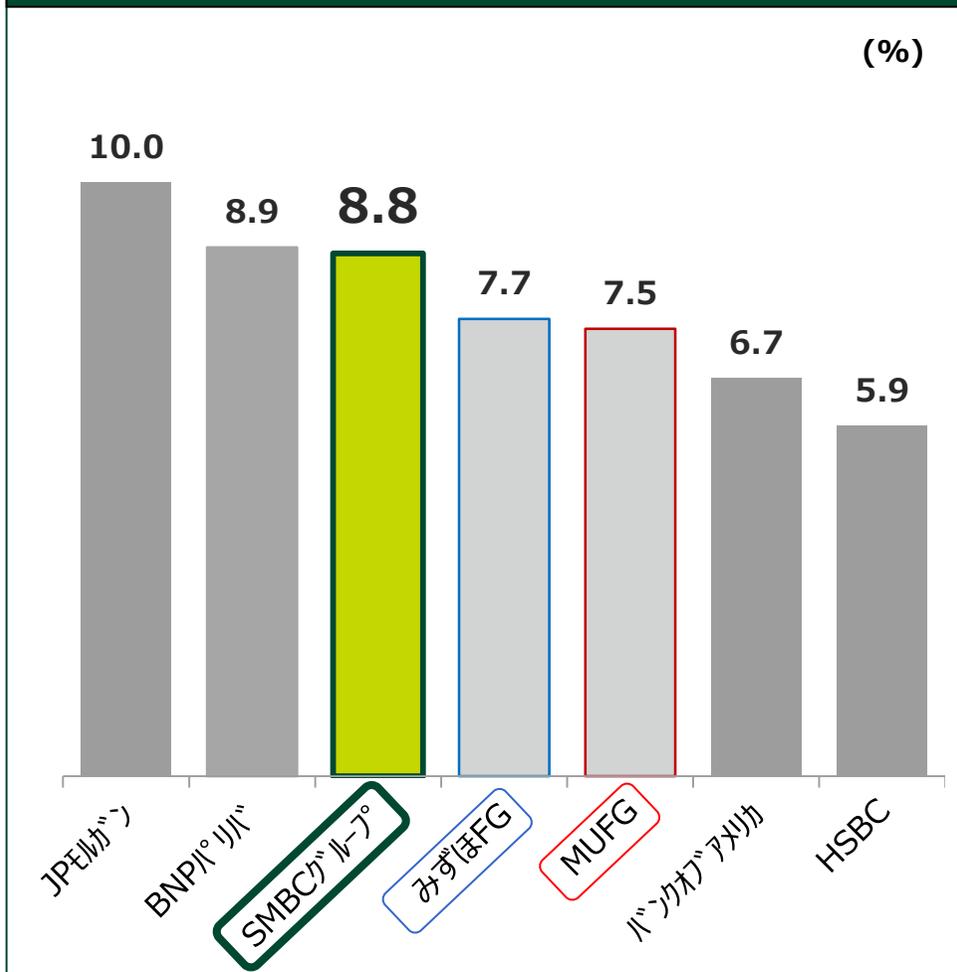
三井住友
アセットマネジメント

2. 高い収益性・効率性

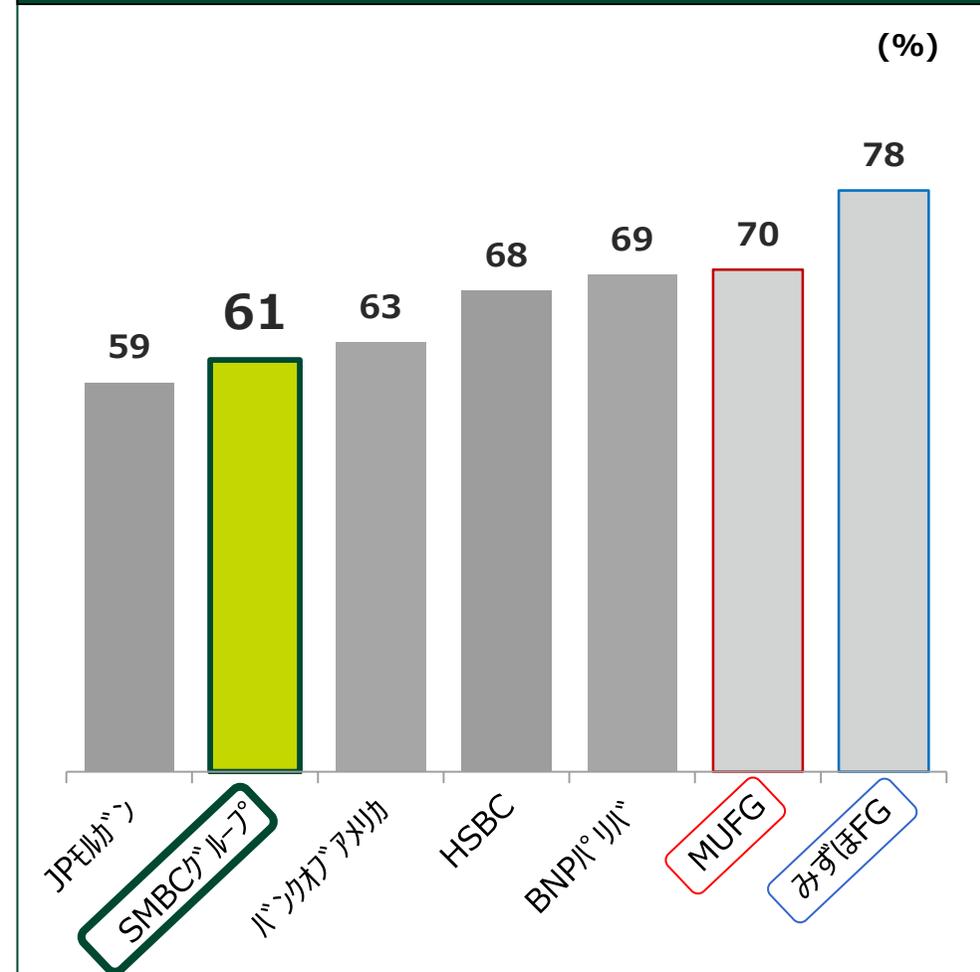
- 世界的に見ても、SMBCグループの収益性・効率性は高水準です



ROE*1



経費率*1,2

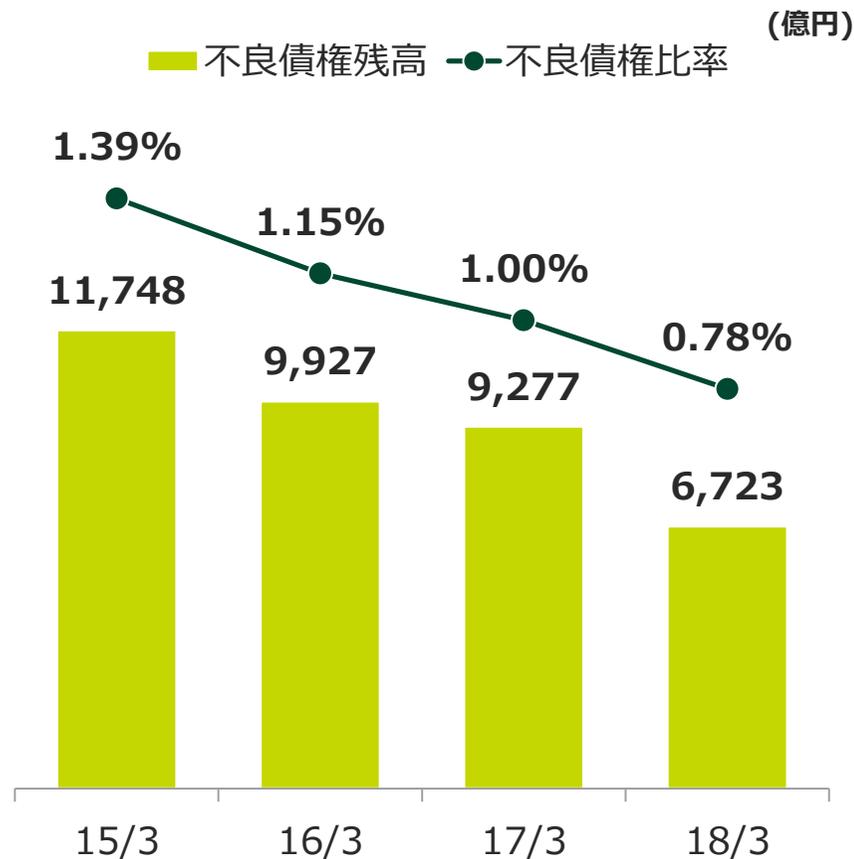


3. 質の高い資産・健全な資本基盤

- 規律を利かせた与信運営によって、低水準の不良債権比率を維持しています
- 国際的な規制強化で資本の拡充が求められる中、十分な自己資本を確保しています



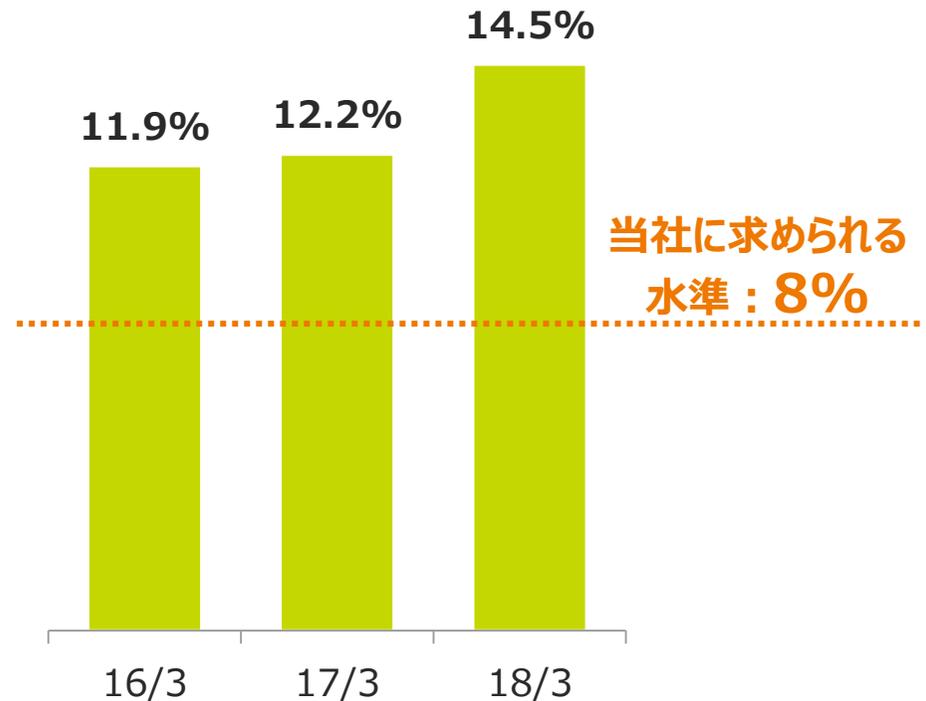
不良債権残高・比率



自己資本

普通株式等Tier1比率

(完全実施基準^{*1})

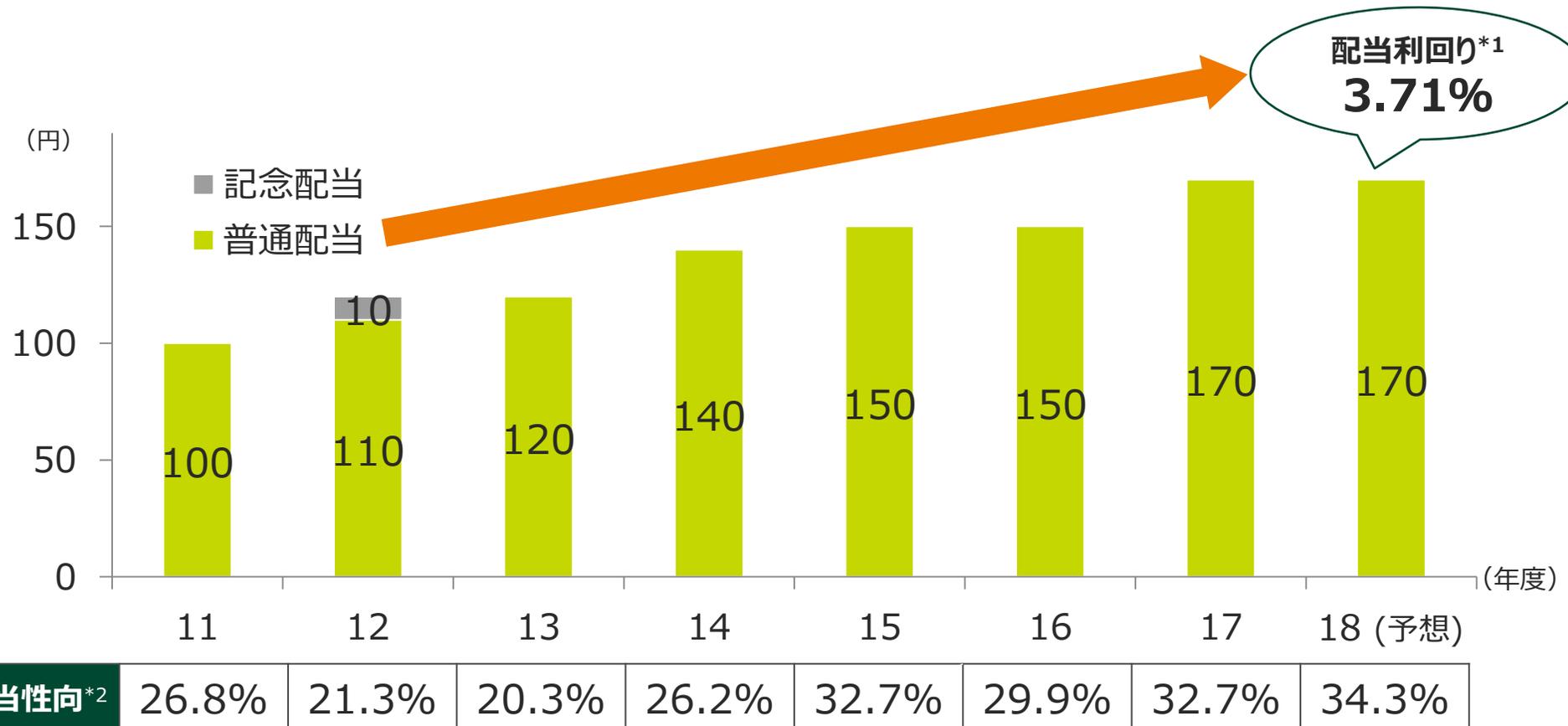


4. 安定的に増加している配当

- 配当は、累進的配当、すなわち「減配せず、配当維持もしくは増配」する方針で、2018年度の配当予想に基づく配当利回りは、3.71%（9月末現在）となっています



1株当たり配当の推移



I.

SMBCグループの特長・強み



II.

SMBCグループの成長戦略

III.

株主還元強化への取組

IV.

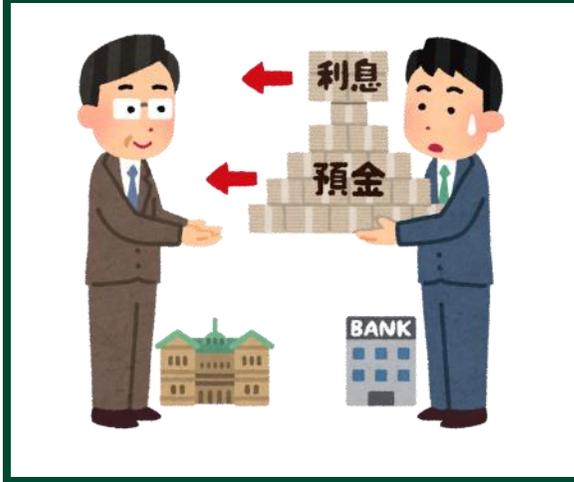
ESG（環境・社会・ガバナンス）

V.

ご案内

1. 金融機関を取り巻く環境

マイナス金利政策の継続



国際金融規制の強化



デジタル技術の進展



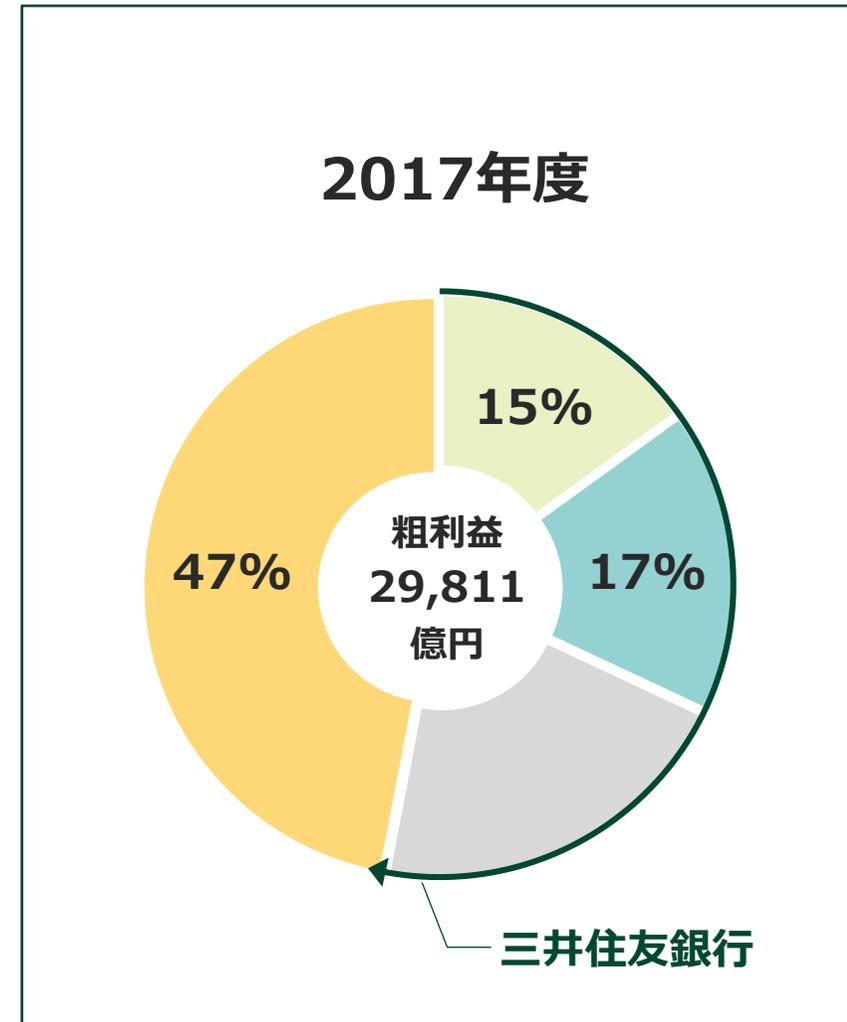
大きな構造変化を求められる局面

ビジネスモデルを進化させるチャンス

2. SMBCグループの収益構成

- グループ誕生以降、収益源の多様化を着実に実現

連結粗利益の内訳

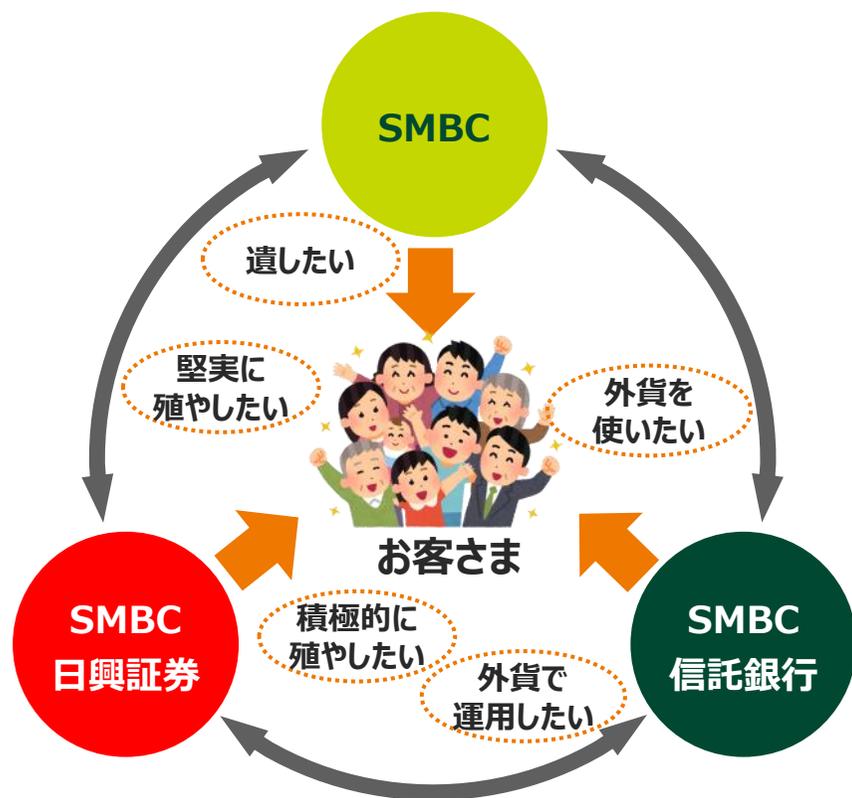


3. 個人のお客さま向けビジネス

- 業界トップクラスのグループ各社の総合力を結集し、個人のお客さまの幅広い金融ニーズに対応

資産運用ニーズ

- SMBC・SMBC日興証券・SMBC信託が連携



決済ニーズ・お借入ニーズ

- 各業界トップクラスのプレイヤーが事業を牽引

クレジットカード



消費者金融



3. 個人のお客さま向けビジネス

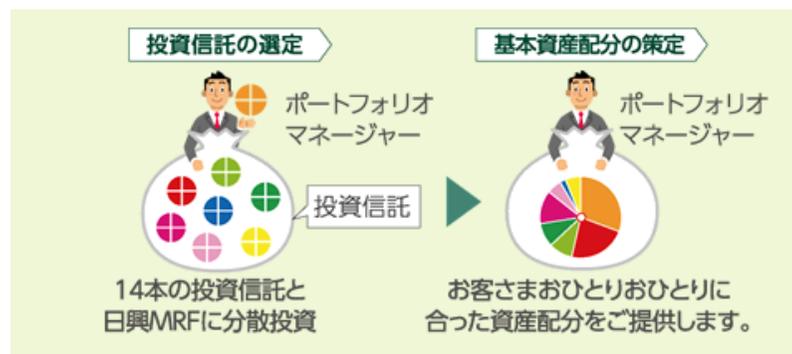
① 資産運用ニーズへの具体的取組

- 中長期分散投資を軸に、お客さま本位の資産管理型ビジネスを展開
- 「大相続時代」の到来を控え、お客さまの相続・承継ニーズへの対応力を強化

資産管理型ビジネスへの取組

- 中長期分散投資を軸とした運用提案の継続
→ 分散投資の核となる商品・サービスの強化

<ファンドラップ>



<SMBC信託銀行 PRESTIA >

✓ 多彩な外貨建商品ラインアップを提供



相続・承継ニーズへの対応力強化

- SMBC本体で信託業務を取扱
→ 普段のコンサルティングを通じて、遺産相続・資産承継ニーズを発掘
→ 相続税額の試算から遺産整理まで、ワンストップでのサポートが可能

相続税額
試算

遺言信託
事業承継
生命保険

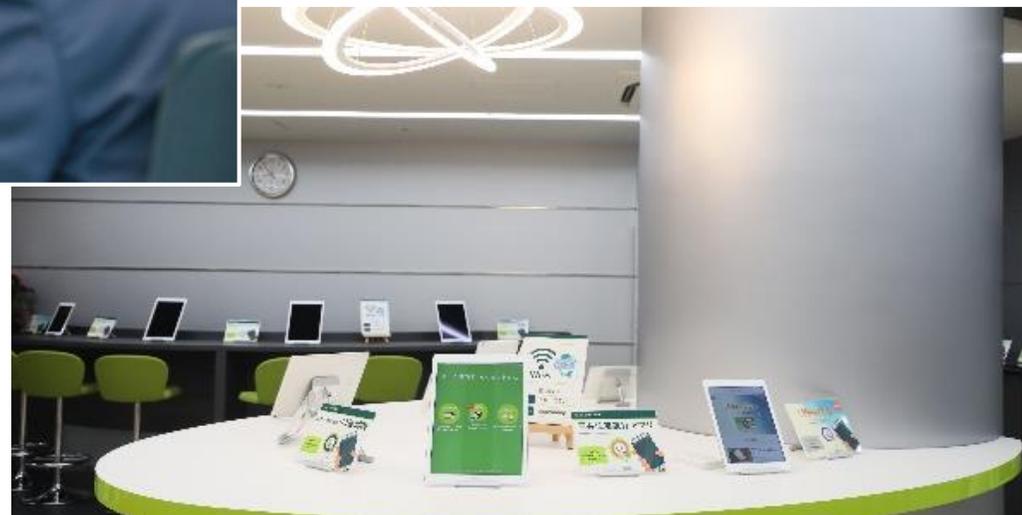
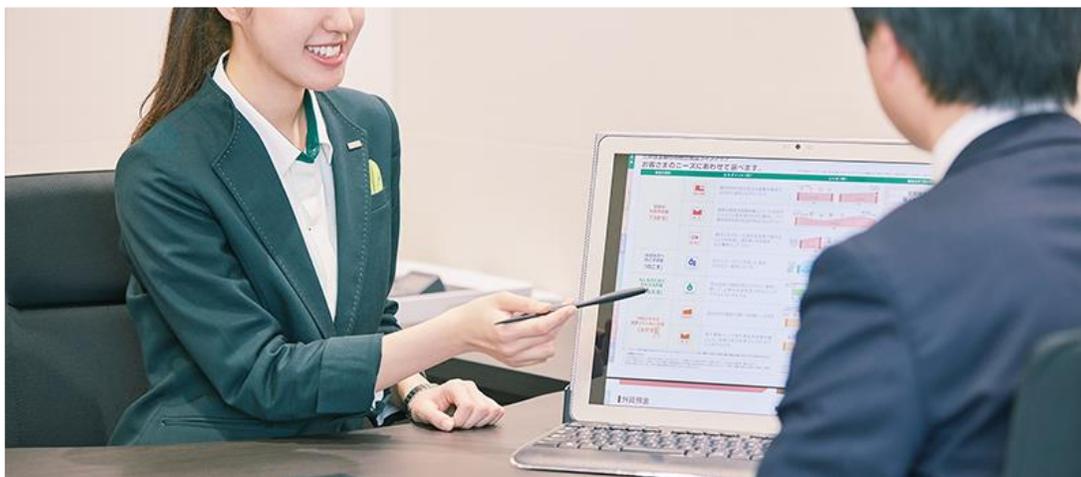
遺産整理



② 店舗改革

● コスト構造改革と同時に、運用相談スペースの拡充等、お客さまの利便性向上も実現

- 運用相談等、お客さまのためのスペースを拡充
- よりお客さまに寄り添ったコンサルティングサービスを提供



- 事務スペースを排除して店舗面積を圧縮
- 店頭のお取引をデジタル化→印鑑レス・ペーパーレス

② 店舗改革

- 各店舗の地域性・マーケットの特色に応じた店舗設計
- 改革の効果は着実に具現化

次世代店舗の例

- 個人のお客さま専用店舗

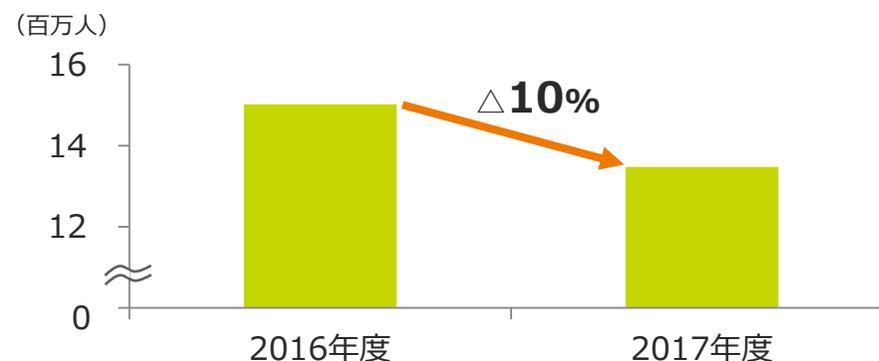


- グループ共同店舗

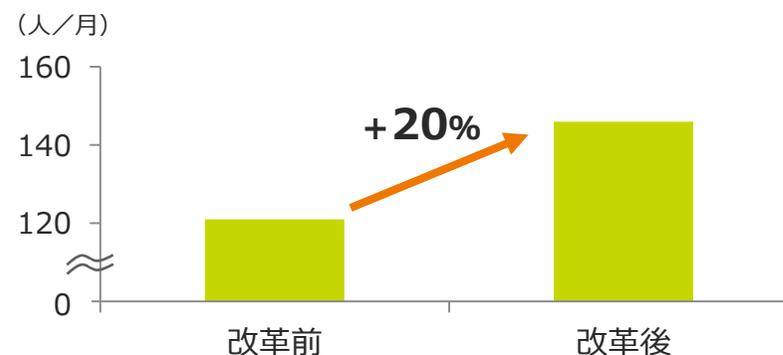


現在までの効果

ハイカウンター*1来店者数



資産運用相談での来店者数*2

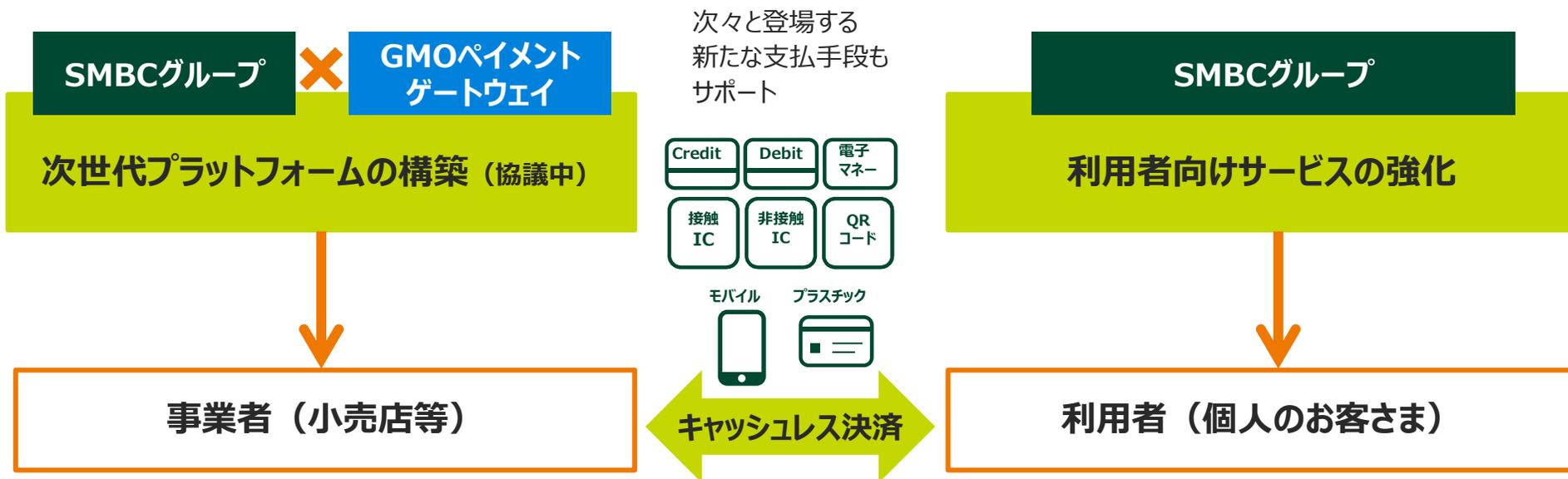


*1 振込や両替等の事務手続を行う窓口

*2 対象拠点（17年度上期店舗改革実施拠点）の預り資産残高25百万円以上の来店数

③ キャッシュレス決済

- 利用者・事業者の視点からサービスをレベルアップし、日本のキャッシュレス化を牽引



③ キャッシュレス決済

便利

いつでも・どこでも・好きな方法で
支払える

安心
安全

柔軟な利用限度額設定など
支払を自分でコントロールできる

お得

さまざまな金融サービスの利用で
グループ共通ポイントを獲得

<便利>

スマホでさりと決済

クレジット
デビット
電子マネー

財布・カードはカバンから出さなくてOK

QR / 非接触



非接触決済!



国内・海外での店頭で



もちろんインターネットショッピングも

<安心・安全>

紛失してしまった時



使いすぎってしまった時



セルフコントロールで
らくらく設定!

簡単に
使用停止



使いすぎ
防止に



便利!

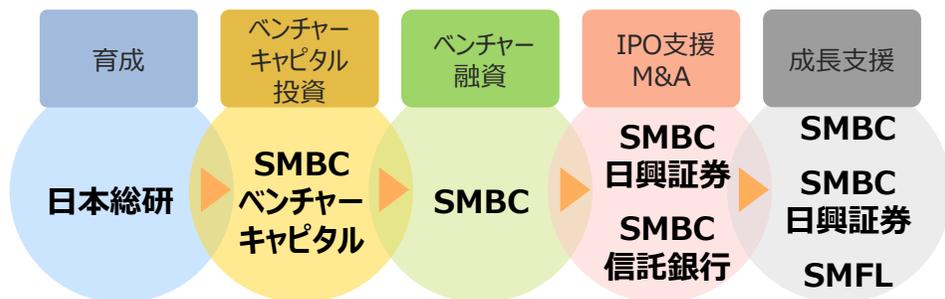


4. 法人のお客さま向けビジネス

- 中堅・中小企業マーケットにおける優位性の拡大とともに、大企業ビジネスでのプレゼンス向上を図る

中堅・中小企業マーケットでの優位性拡大

- お客さまの成長ステージに応じた多様なご提案



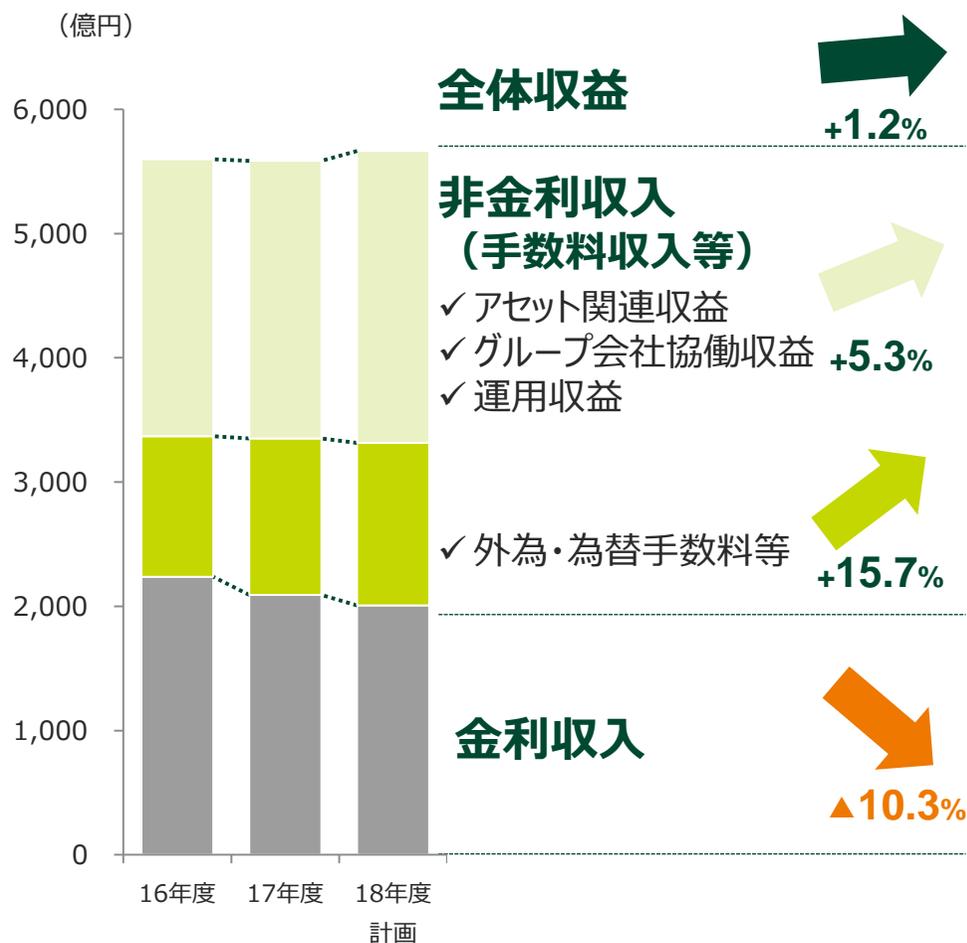
大企業ビジネスにおけるプレゼンス拡大

- グループベース・国内外一体となった対応力強化



*1 ホールセール部門 (三井住友銀行)

収益構造の転換*1



5. 海外ビジネス

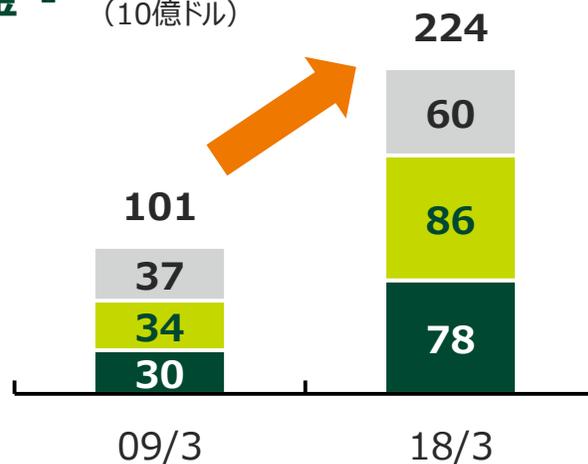
- SMBCグループの成長の牽引役として、堅調に拡大中
- 特に、強みのある高採算のプラダクトと、インドネシアをはじめとするアジアに注力

SMBCグループの成長を牽引

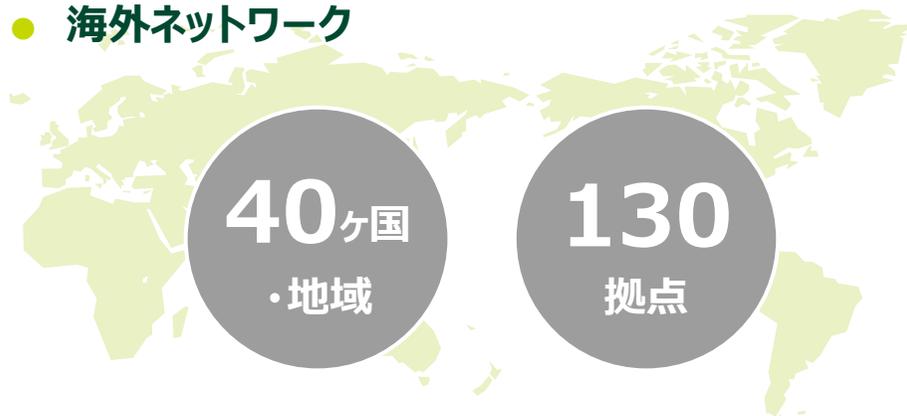
● 海外貸出金*1

(10億ドル)

- 欧阿中東
- 米州
- アジア



● 海外ネットワーク



強みのあるプラダクトへのフォーカス

● グローバルでトップクラスの地位を確立

航空機リース	世界 4 位
米国貨車リース	北米 6 位
プロジェクトファイナンス*2	世界 3 位

アジア・セントリックの深化

- 40%出資先の地場銀行BTPNと、SMBCインドネシアとの合併により、連結子会社化予定



6. コスト削減への取組

- 3年間で年間500億円のコスト削減を実現する目標に対し、1年目に260億円削減に目処

3カ年計画（2017～2019年度）：経費△500億円

業務改革による効率性向上

△200億円

リテール店舗改革

△200億円

グループ内事業再編

（SMBC日興証券・SMBCフレンド証券の統合）

△100億円

2017年度に目処をつけた削減額

約△260億円

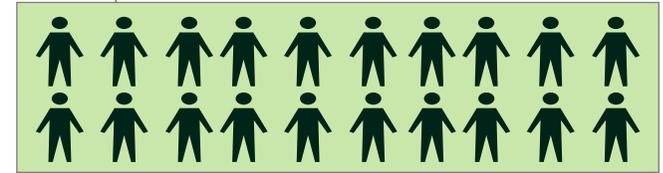
主要施策による人員面の効率化効果

△4,000人分の業務量削減（人員余力の捻出）

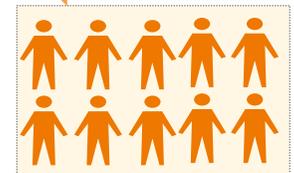
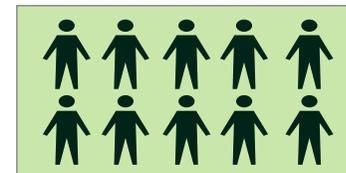
RPA*による業務の自動化を通じた効率性向上

*Robotic Process Automation（ロボティック・プロセス・オートメーション）

従来



RPA活用



- 企画業務等に注力

- 付加価値の高い領域へシフト

I.

SMBCグループの特長・強み

II.

SMBCグループの成長戦略



III.

株主還元強化への取組

IV.

ESG（環境・社会・ガバナンス）

V.

ご案内

1. 資本政策の基本方針

- 健全性確保、株主還元強化、成長投資をバランスよく実現
- 株主還元は、配当を基本とするが、健全性確保を前提に、自己株取得も機動的に実施

累進的配当政策

- 減配せず、配当維持もしくは増配を実施

配当性向40%を目指す

- 次期中期経営計画期間中を目処
(2022年度迄)

機動的な自己株取得

健全性確保

普通株式等Tier1比率目標*1：
10%程度

持続的な
株主価値の向上

当面のROE目標*2
7~8%程度

投資規準

- 戦略に合致
- シナジー後・のれん償却後
ROE*3で8%以上を展望可能
- リスクがマネジャブル

株主還元強化

成長投資

(参考) 2018年5月に公表した株主還元策

- 配当：17年度は前期比+20円・公表予想比+10円増配の170円、18年度予想は170円
- 自己株取得：上限700億円の取得枠の設定（取得した自己株式は全て消却）

株主還元策

	17年度		18年度 目標
		前年比	
1株当たり配当	170円	+20円	170円
配当性向	32.7%	+2.8%	34.3%
親会社 株主純利益	7,344億円	+278億円	7,000億円
自己株取得	700億円		

自己株取得

取得金額	700億円
取得株数	1,537万株（全株消却済）
取得期間	2018年5月15日～6月19日

(参考) 総還元性向	42.2%
---------------	-------

I. SMBCグループの特長・強み

II. SMBCグループの成長戦略

III. 株主還元強化への取組



IV. **ESG（環境・社会・ガバナンス）**

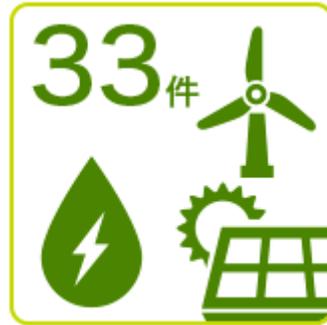
V. ご案内

1. 環境 (E)

- 事業活動における環境負荷軽減とともに、金融機能を活かして経済面から地球環境保全に貢献することを目指す

環境ビジネスの推進

- 再生可能エネルギーへのプロジェクトファイナンス



- グリーンボンドの発行

調達した資金は、再生可能エネルギー・省エネルギー等の環境に配慮したプロジェクトに充当



気候変動への取組

- 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) への賛同を表明



- 石炭火力発電所に対する融資方針をより厳格化

3. ガバナンス (G)

- 多様な知見・経験を持つ7名の社外取締役による監督機能の強化



松本 正之

東海旅客鉄道株式会社
特別顧問



アーサー M. ミッチェル

米国ニューヨーク州弁護士
外国法事務弁護士



山崎 彰三

公認会計士



河野 雅治

元外交官



筒井 義信

日本生命保険相互会社
代表取締役会長



新保 克芳

弁護士



桜井 恵理子

東レ・ダウコーニング株式会社
代表取締役会長・CEO

取締役会の構成

社内取締役
(執行)

7名

社内取締役
(非執行)

3名

取締役
17名

社外取締役

7名

専門分野

経営	3名
財務・会計	1名
法曹	2名
外交	1名

4. SDGsへの取組み

- グローバル金融グループとして、本業を通じた社会的課題の解決に注力

SDGsとは？

- Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略
- 2015年9月、国連サミットで採択された2030年までの国際目標
- 17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」世界の実現を目指す

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



SMBCグループの
注力項目

Environment



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を

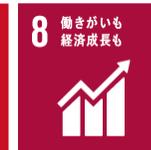
Social



1 貧困を
なくそう



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを

Governance



5 ジェンダー平等を
実現しよう



10 人や国の不平等
をなくそう



16 平和と公正を
すべての人に

I.

SMBCグループの特長・強み

II.

SMBCグループの成長戦略

III.

株主還元強化への取組

IV.

ESG（環境・社会・ガバナンス）



V.

ご案内

1. 東京2020オリンピック・パラリンピック

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にゴールドパートナー（銀行）として協賛
- 多数のパラリンピックアスリートが在籍



<Team SMBC グラフィック>



SMBCグループ

パラリンピックをめざすSMBCグループ所属アスリートたち

We are Team SMBC



ひとりひとりが日本代表。

世界の舞台へ、想いをひとつに。



三井住友銀行は、東京2020パラリンピックを応援します。

三井住友銀行

2. 当社のウェブサイト

http://www.smfg.co.jp



①「株主・投資家の皆さまへ」をクリック

②「決算関連情報・IR資料室」をクリック

株主・投資家の皆さまへ **決算関連情報・IR資料室**

最新の決算資料・IR資料はこちら

- 決算関連資料
- IRイベント・プレゼンテーション
- 個人投資家向け説明会
- 統合報告書・ディスクロージャー誌
- 有価証券報告書
- 株主総会関連資料
- パーゼルⅢ関連資料
- 株式・社債情報
- 株債情報
- IRカレンダー
- よくあるご質問
- 電子公告
- IR関連新着情報一覧
- ディスクロージャー・ポリシー
- IRサイトマップ

決算関連資料
決算短信、記者発表資料、投資家説明会資料、投資家説明会動画配信などを、年度別に一覧形式でまとめています。

IRイベント・プレゼンテーション
IRイベントやIRプレゼンテーション資料などを、年度別に一覧形式でまとめています。

個人投資家向け説明会
個人投資家向け会社説明会のプレゼンテーション資料や動画配信を掲載しています。

統合報告書・ディスクロージャー誌
銀行法の規定に基づき、当社の業務内容や財務内容について説明した統合報告書・ディスクロージャー誌を掲載しています。

有価証券報告書
有価証券報告書、半年報告書、四半期報告書を掲載しています。

パーゼルⅢ関連資料
自己株式比率の構成など、自己株式に関する情報を掲載しています。

電子公告
公告をお知らせします。

本日の資料はこちらに掲載されます

CEOメッセージ

経営理念

中期経営計画

株価情報
2017年08月17日 15:00
東証1部(証券コード:8316)
現在値 4,148.0円
前日比 -3.0(-0.1%)
チャート

グループ会社

株主・投資家の皆さまへ

企業の社会的責任 (CSR)

最新IR資料

- 第1四半期決算短信 (321KB)
- 2017年度第1四半期末集の概要 (998KB)
- 統合報告書・ディスクロージャー誌 (4,684KB)
- 一括ダウンロード (7.5MB)

統合報告書・ディスクロージャー誌

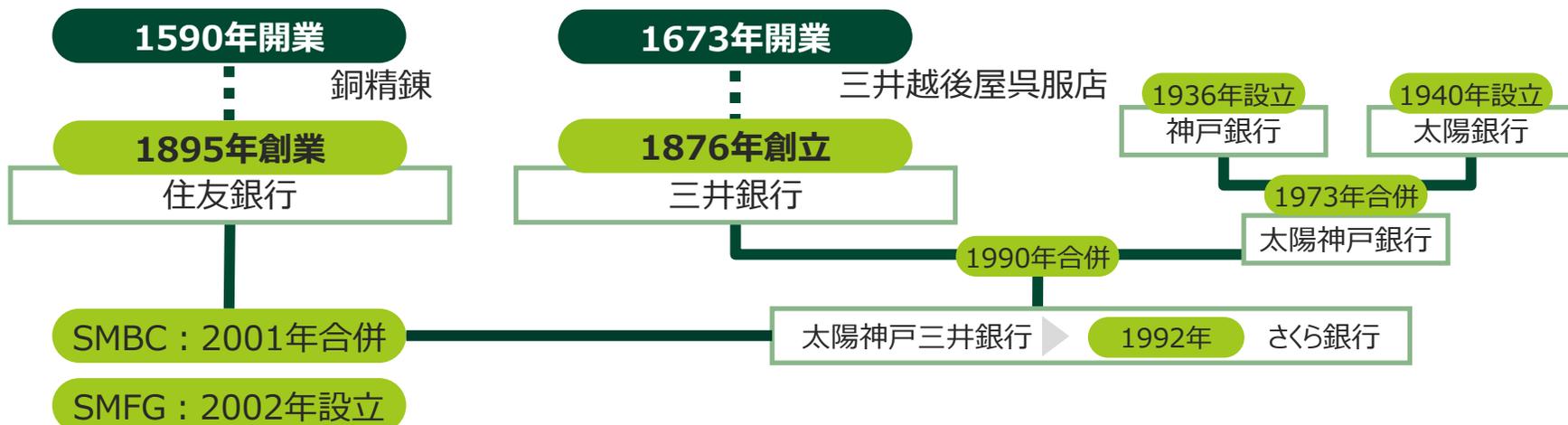
統合報告書・ディスクロージャー誌 **SMBCグループの取組をより詳しくご説明しています**

2018年(平成30年)3月期

年度版	<ul style="list-style-type: none"> 統合報告書・ディスクロージャー誌 本編 (5,598KB) ディスクロージャー誌 資料編 (4,684KB) 	<p>> 分割</p>
中間期版	<ul style="list-style-type: none"> 一括 (4,009KB) 	> 分割

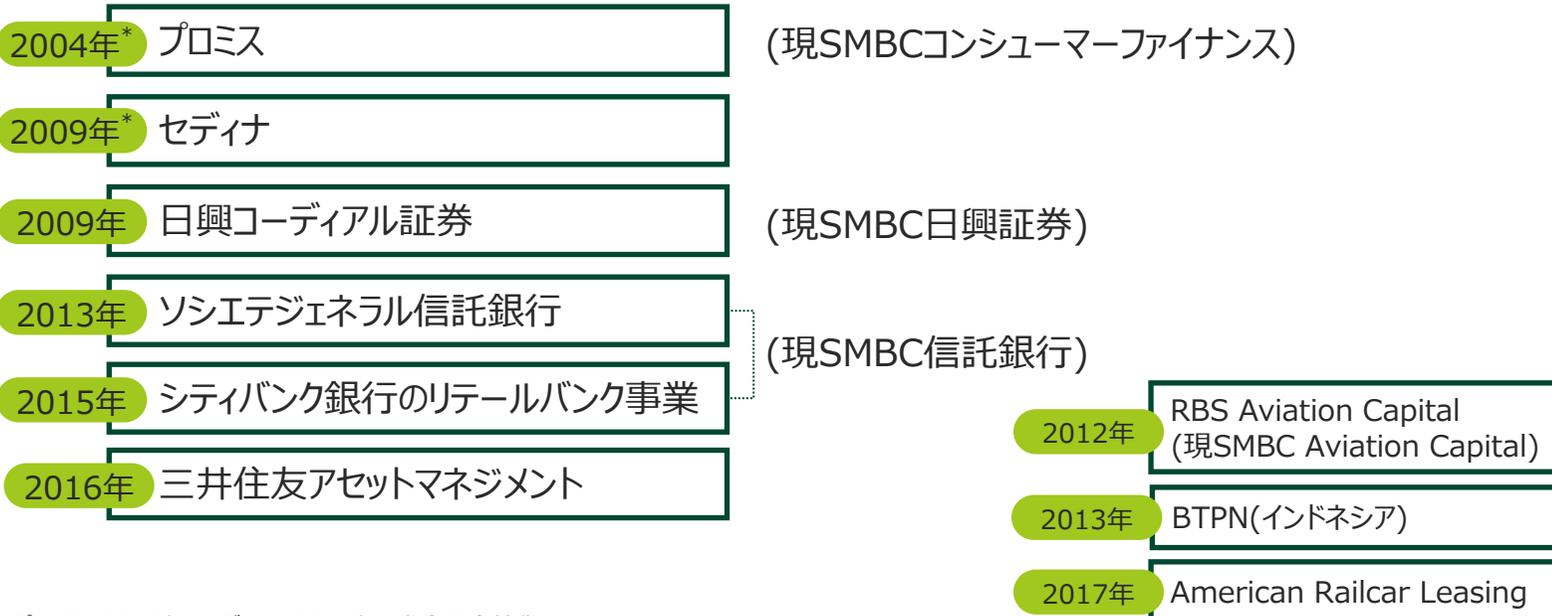
ご参考資料

SMBCグループの沿革



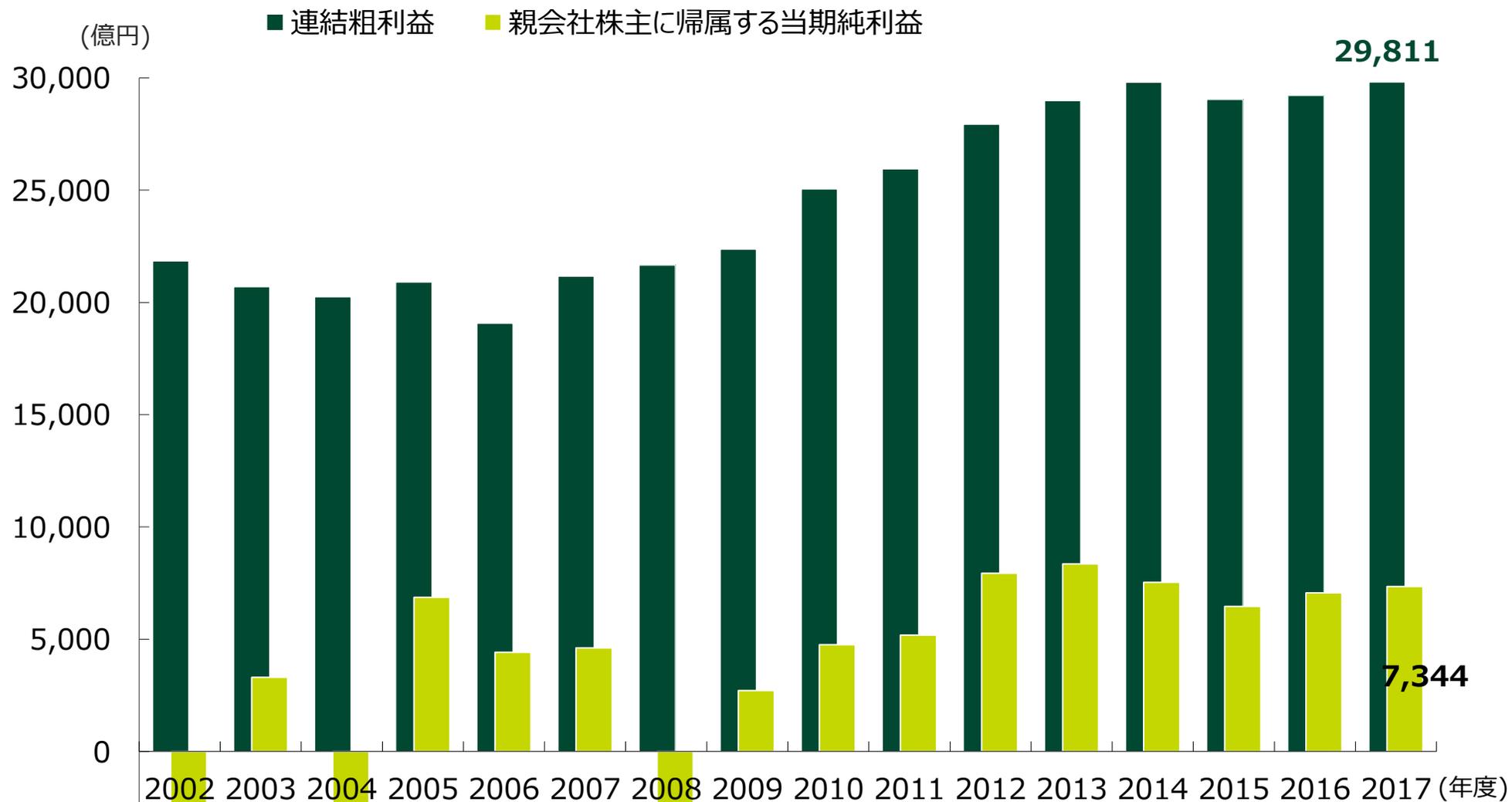
三井住友フィナンシャルグループ／三井住友銀行

《主な連結子会社化・事業取得》



* 初回出資時。プロミスは2012年、セディナは2011年に完全子会社化

業績推移



決算の概要

連結P/L

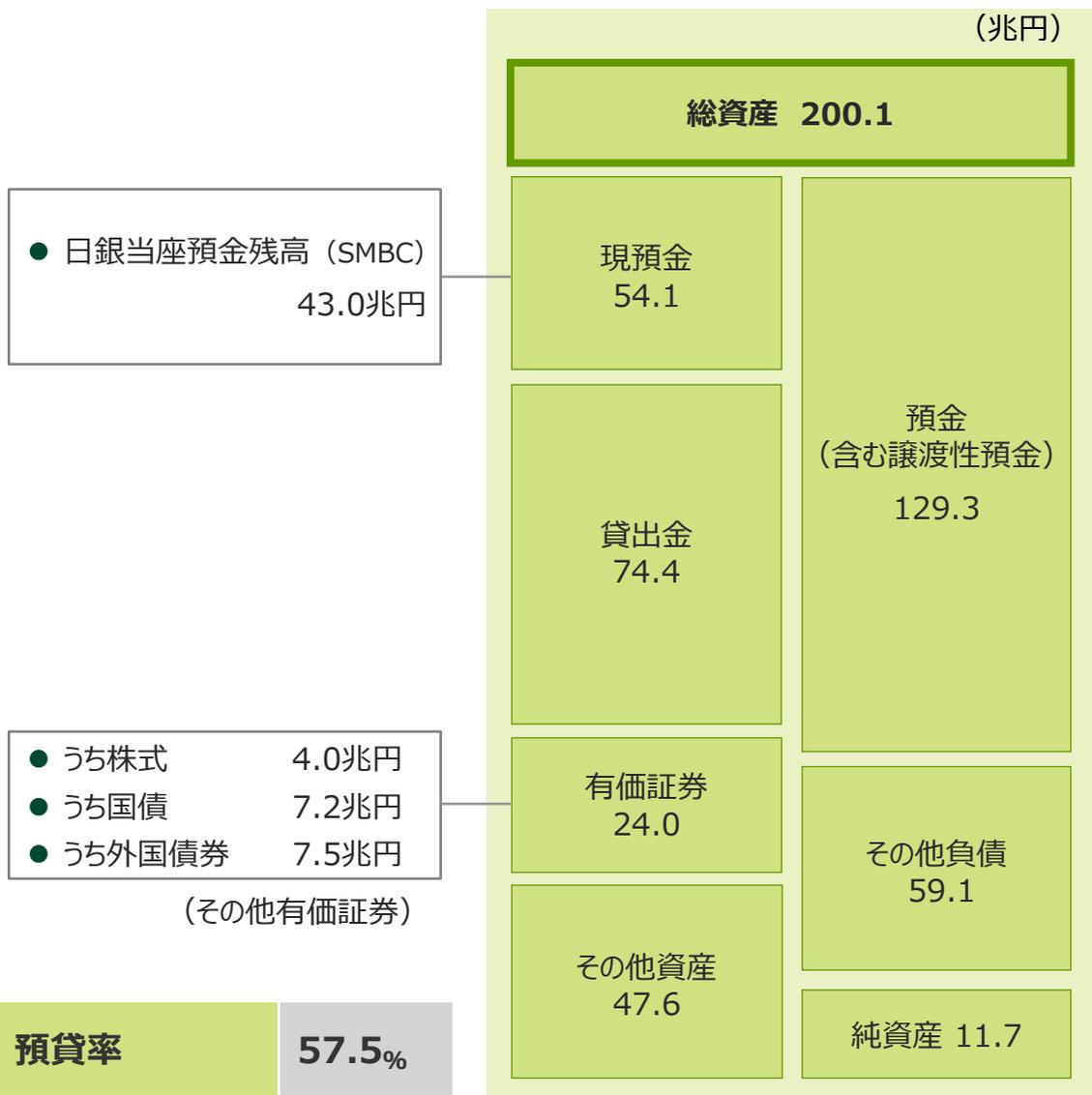
	(億円)	17年度		1Q実績	18年度 目標
		実績	前年比		
1	連結粗利益	29,811	+603	7,191	
2	営業経費	▲18,162	▲38	▲4,288	
3	持分法投資損益	390	+144	240	
4	連結業務純益* ¹	12,038	+710	3,144	11,550
5	与信関係費用	▲942	△702	▲84	▲2,000
6	株式等損益	1,189	+639	290	
7	その他	▲645	▲468	▲32	
8	経常利益	11,641	+1,583	3,319	10,200
9	親会社株主純利益	7,344	+278	2,271	7,000

主要グループ会社の親会社株主純利益寄与

	(億円)	17年度 実績
三井住友銀行		5,770
SMBC日興証券* ²		619
三井住友ファイナンス&リース		327
SMBCコンシューマーファイナンス		246
三井住友カード		187
三井住友アセットマネジメント		36
セディナ		24
SMBC信託銀行		▲58

■ バランスシート・1株あたり情報

連結B/S (2018/6月末)



1株あたり情報

	17年度 実績	前年比	18年度 目標
当期純利益	520.67円	+4.67円	496.26円
配当	170円	+20円	170円

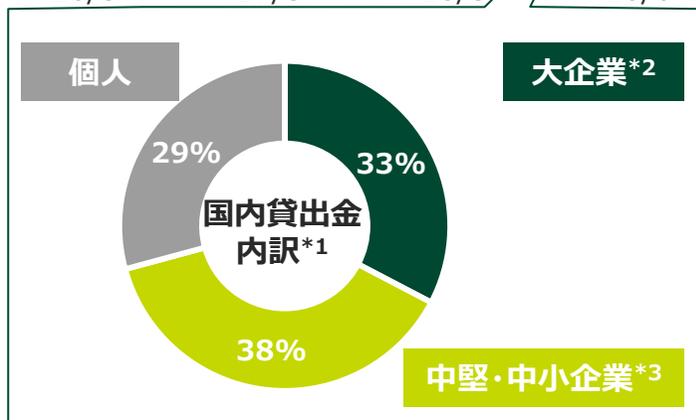
	18/3月末	17/3月末比
純資産	7,366.21円	+464.54円

貸出金

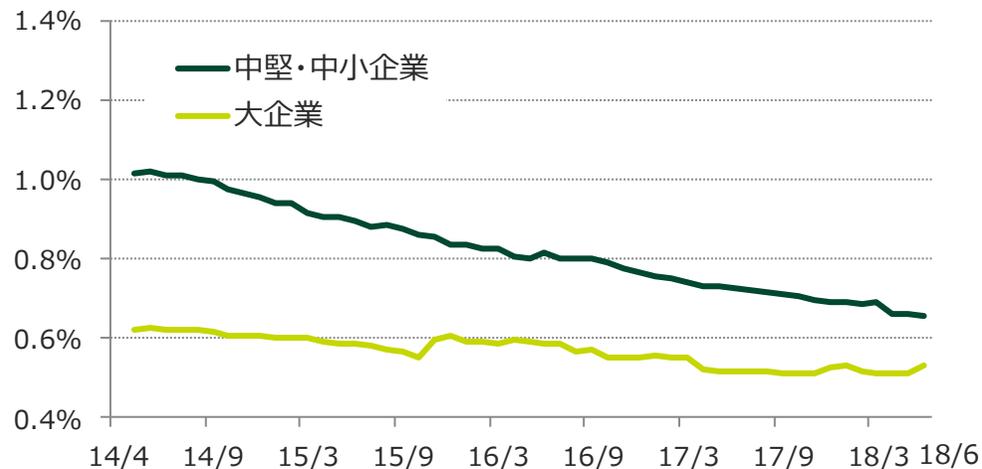
貸出金残高 (SMBC単体)

(兆円)

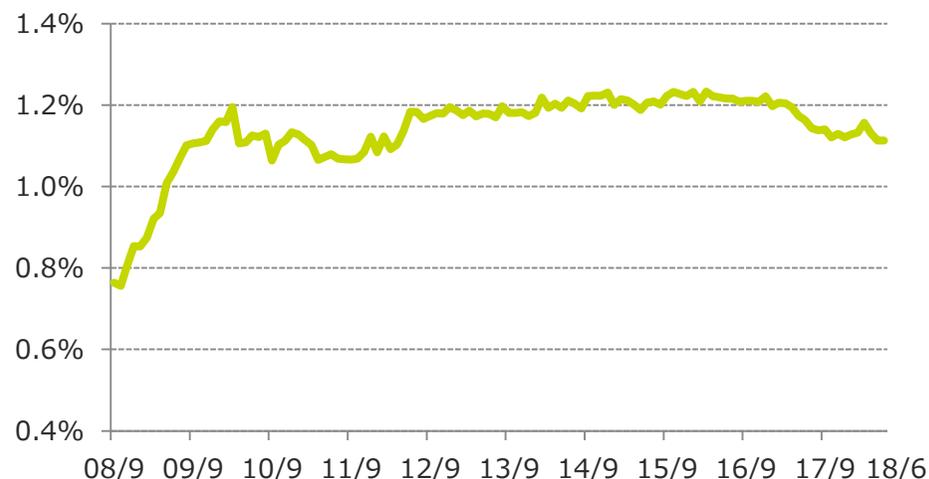
- 海外店分及び特別国際金融取引勘定分
- 国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)



国内法人向け貸出金スプレッド (SMBC単体) *1,4



海外貸出金スプレッド (SMBC単体) *1,5



外部からの評価

外部格付

	SMFG		SMBC	
	(長期)	(短期)	(長期)	(短期)
Moody's	A1	P-1	A1	P-1
S&P	A-	—	A	A-1
Fitch	A	F1	A	F1
格付投資情報センター (R&I)	A+	—	AA-	a-1+
日本格付研究所 (JCR)	AA-	—	AA	J-1+

SRI（社会的責任投資）インデックスへの組入れ

GPIFが選定したESG指数（総合型）

■ FTSE Blossom Japan Index

日本株の時価総額上位500銘柄の中から、各業種の中でESG格付けが相対的に高い銘柄を選別して構成する指数



FTSE Blossom Japan

■ MSCI Japan ESG Select Leaders Index

米国のMSCI（モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル）社がESGの観点から高評価の企業を構成銘柄とする指数



2018 Constituent MSCI Japan ESG Select Leaders Index

■ FTSE4Good Global 100 Index

英国の金融紙フィナンシャル・タイムズとロンドン証券取引所の共同出資会社であるFTSEインターナショナルが作成した指数



FTSE4Good

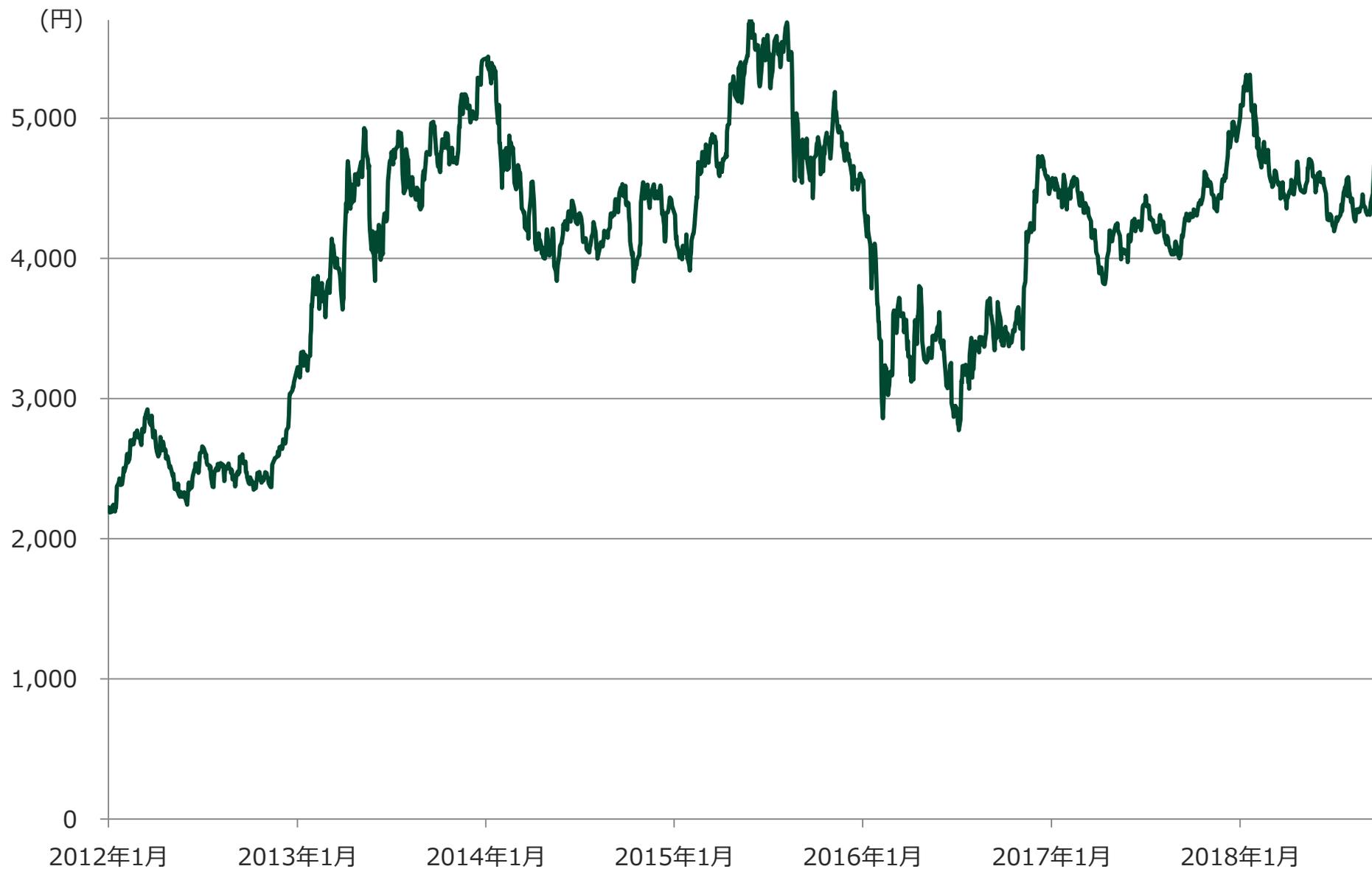
■ SNAMサステナビリティ・インデックス

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントによるESG運用指数



Member of SNAM Sustainability Index 2018

株価推移





本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式に係るリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものを参照ください。